災害への備え

あしたの笑顔を守るため。

昨年の台風19号のような大規模災害時には、市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供などの「公助」には限界があるため、自分や家族を自ら守る「自助」や地域の人々が協力して助け合う「共助」が大切になります。

7月から10月にかけて、台風やゲリラ豪雨などの自然災害が発生しやすい時期になります。

いざという時のために、日頃から防災意識を持って災害に備えることが重要です。

危険箇所・避難所の確認

市では、最新の避難場所や危険地域の情報を記載した「田村市防災マップ」を作成しています。完成後、市民の皆さんに配布します。

自宅近くの危険箇所や避難場所までの安全な避難ルートを家族で事前に確認し、水害や土砂災害に備えましょう。

現在の防災マップは、市ホームページからダウンロードできます。

▲台風19号で被災した道路（船引町芦沢地区）

▲1人分の備蓄品（非常用の持ち出し品）

災害時の備蓄品をチェック！

災害発生時はどんな状況で何が起こるのか予想できません。

避難所へ避難できないことも想定し、自分や家族の身を守るため、最低でも3日分以上の備えを用意することが必要です。

【自宅での備蓄品例】

- □食料
- □飲料水
- □懐中電灯（電池もセットで）
- □携帯用ラジオ
- □常備薬
- □簡易トイレ
- □衛生用品

備蓄品の管理 ローリングストック法

家庭で防災用の物資や食料を非常時専用で管理するのはとても大変です。

そこで、日頃から使用している消耗品・食材・衛生用品などを「少し多めに買っておく」、「使ったらその分を補充する」ことで備蓄管理の負担を減らすことができます。

これをローリングストック法と言い、そのポイントは、

- ●日常的に食べ慣れているものを選ぶ
- ●日常的に食事に取り入れ、古い食品から順に食べる
- ●食べたら買い足すことを忘れない

ローリングストック法に適しているのは、普段からよく食べていて、保存できる期間が長い食品です。

【保存食品例】

- □レトルト食品
- □ゼリー
- □シリアル（コーンフレーク）
- □カップラーメン
- □お菓子類
- □缶詰類

食品のみでなく、トイレットペーパーなどの日用品も多めに買い、いつでも一定の量が自宅にあるように備えましょう。

また、この方法に限らず、各家庭にあった管理方法を検討しましょう。

●問い合わせ
市民部 生活環境課
☎81-2272

命を守る「情報」

台風や地震などの災害時には、市からの情報の有無が命を左右することも考えられます。

市では、「田村市情報メール配信サービス」により災害時の避難情報や、犯罪被害の情報などをメールでお知らせしています。配信をご希望の方は、QRコードから登録してください。

【登録方法】
QRコードを読み取り、配信登録用のメールアドレスへ空メールを送信してください。送信後、仮登録受け付けのメールが届きますので、メール内のURLから配信登録を行ってください。

また、市公式SNSでも情報を発信していきますので、自分にあった方法で防災情報を収集してください。市公式SNSの登録は、本誌7ページをご覧ください。

断水対策にはお風呂の残り湯を活用

断水が起きると、トイレなどが利用できなくなってしまいます。

台風など事前に災害の情報が得られる場合、備蓄の飲用水とは別に、お風呂の残り湯を貯めておくと、災害時の生活用水として活用できます。

避難のときはご近所と助け合って

災害が起きた場合は、自分の家族だけでなく、ご近所同士で助け合うことも必要です。

小さなお子さんや妊娠されている方、高齢の方など助けが必要な人へ支援の輪を広げましょう。